

## (1) 市立ひらかた病院改革プランに基づく病院経営の健全化

目標	平成 29 年 3 月に策定した『市立ひらかた病院改革プラン（第 2 次中期経営計画）』において、「収支改善」「経費削減」「収入確保」「経営の安定性」のそれぞれの観点から設定した各目標数値の達成に向けた取り組みを進めることで、持続可能な経営基盤を構築するための経営改善に努めます。
取り組み	<p>① 救急搬送患者の積極的受け入れ 救急医療及び小児二次救急医療は本院の重要な役割であり、救急搬送患者を積極的に受け入れます。</p> <p>② 医師等の人材の確保による収益力の向上 不足する診療科の医師及び専門的資格を持つ看護師、リハビリテーション技師の確保等により、収益力の向上を図ります。</p> <p>③ 病院機能の強化 紹介率・逆紹介率等の要件を満たし、地域医療支援病院の承認取得をめざします。また、医師や地域連携スタッフが積極的に地域の医療機関を訪問するなど、連携強化に取り組むとともに、中核病院と地域の医療機関が患者情報を共有できる「地域医療連携システム」の会員拡大に努め、紹介患者及び紹介率の向上をめざします。</p> <p>④ 情報発信の強化 市民公開講座やオープンセミナーなどの開催とともに、ホームページや広報のほか、様々な媒体による健康や医療に関する情報提供に努めます。</p> <p>⑤ 患者負担額の見直し 緩和ケア病棟において他の病棟の室料差額との整合を図るとともに、紹介状を持たない初診患者にかかる非紹介患者初診料加算金を見直します。</p>

9 月末の  
進捗状況  
【〇】

- ① 救急搬送応需率の目標を 80% と設定し、積極的に救急搬送患者の受け入れを行っている。
- ② 医師 3 名、看護師 13 名、リハビリテーション技師 1 名の採用を行い、収益力の向上に努めている。
- ③ 地域医療支援病院の承認取得に向けて、医師や地域連携スタッフが地域の医療機関の訪問計画を立て、紹介率・逆紹介率の向上に努めている。
- ④ 市民公開講座やオープンセミナーなどを開催するとともに、ホームページや広報等を活用し、積極的に情報提供に努めている。
- ⑤ 平成 29 年 4 月 1 日より改定した。